

レビュー研究用フォーム		データ記入欄		
基本情報	対象疾患	悪性黒色腫		
	タイプ			
タイトル情報	論文の英語タイトル	Prospective randomized trial of the treatment of patients with metastatic melanoma using chemotherapy with cisplatin, dacarbazine, and tamoxifen alone or in combination with interleukin-2 and interferon alfa-2b.		
	論文の日本語タイトル			
診療ガイドライン情報	ガイドラインでの引用有無	1.有り 2.無し （ 1 ）		
	ガイドライン上での目次名称	C Q20-10		
書誌情報	エビデンスのレベル分類	I. システマティック・レビュー／メタアナリシス II. 1つ以上のランダム化比較試験による III. 非ランダム化比較試験による IV. 分析疫学的研究（コホート研究や症例対照研究による） V. 記述研究（症例報告やケースシリーズによる） VI. 患者データに基づかない、専門委員会や専門家個人の意見 （ II ）		
	Pubmed ID			
	医中誌 ID			
	雑誌名	J Clin Oncol.		
	雑誌 ID			
	巻	17		
	号	3		
	ページ	968-75		
	ISSN ナンバー	0732-183X (Print)		
	雑誌分野	1.医学 2.歯学 3.看護 4.その他 （ ）		
	原本言語	1.日本語 2.英語 3.ドイツ語 4.その他 （ ）		
	発行年月	1999		
	著者情報		氏名	所属機関
		筆頭著者	Rosenberg SA	Surgery Branch and Department of Biostatistics and Data Management Section, Division of Clinical Sciences, National Cancer Institute, National Institutes of Health,
その他著者 1		Yang JC		
その他著者 2		Schwartzentruber DJ		
その他著者 3		Hwu P		
その他著者 4		Marincola FM		
その他著者 5		Topalian SL, et al.		
その他著者 6				
その他著者 7				
その他著者 8				
その他著者 9				
その他著者 10				

レビュー研究の6項目	目的	tamoxifen, cisplatin, dacarbazine に対する interleukin-2 と interferon alfa-2b の併用効果を調べる
	データソース	
	研究の選択	
	データ抽出	
	主な結果	化学療法のみ 52 例、免疫化学療法(interleukin-2 と interferon alfa-2b の併用) 50 例 化学療法のみ：奏効率 27%、生存期間中央値 15.8 月 免疫化学療法：奏効率 44%、生存期間中央値 10.7 月
	結論	interleukin-2 と interferon alfa-2b の追加によって、有害反応は増すが、生存期間を延長しない。
レビューワーコメント	備考	
	レビューワー氏名	宇原
レビューワーコメント	レビューワーコメント	エビデンスのレベル分類（I I ） interleukin-2 と interferon alfa-2b の併用効果を否定した論文である。E t o n らとはレジメが異なる。 Eton O, Legha SS, Bedikian AY, Lee JJ, Buzaid AC, Hodges C, et al. Sequential biochemotherapy versus chemotherapy for metastatic melanoma: results from a phase III randomized trial. J Clin Oncol. 2002 Apr 15;20(8):2045-52.